

PC日報

Version2.0

＜マニュアル＞

目次

はじめに

使用前の準備 ··· 1ページ

PC日報ソフトの起動方法

起動方法 ··· 2ページ

PC日報ソフト初期起動時の設定

測定場所情報の登録 ··· 3ページ

規制値警告設定 ··· 4ページ

PC日報ソフトメイン画面

標準画面 ··· 5ページ

モニタ画面 ··· 6ページ

最大・最小表示 ··· 7ページ

印刷

騒音グラフ ··· 8ページ

騒音グラフ印刷 ··· 9ページ

振動グラフ ··· 10ページ

振動グラフ印刷 ··· 11ページ

日報印刷 ··· 12ページ

バックアップと復元

バックアップ ··· 14ページ

バックアップ復元 ··· 15ページ

目次

測定場所情報の変更削除

測定場所情報の変更・削除 16ページ

各種設定

設定画面 18ページ

バージョン情報 19ページ

CFカードデータのインポート

CFインポート 20ページ

PC日報ソフトの終了

ソフトの終了 21ページ

動作環境

対応 O S : Windows2000、WindowsXP、WindowsVista
C P U : Celeron 1.3GHz以上
メモリ : 512MB以上
HDD空き容量 : 200MB以上
ディスプレイ : 解像度 1024×768 もしくは 1280×1024
必要デバイス :

- ・CD-ROMドライブ（本アプリケーションのインストール、および起動時に「PC日報ソフト」CD-ROMが必要になります。）
- ・LANポート（10BaseT もしくは 100BaseT）
- ・LANケーブルCAT5以上（パソコンとEBH1を直接LANケーブルで接続する場合は、クロスケーブルをご利用ください。）

パソコンのネットワーク設定 (TCP/IPの設定)

IPアドレス : 192.168.107.100
サブネットマスク : 255.255.255.0

※セキュリティソフトなどをご利用の方へ

EBH1とのネットワーク通信を利用していますので、セキュリティ（ファイアウォールなど）を解除しないと使えない場合があります。その際は以下の情報を許可してください。

EBH1のIPアドレス : 192.168.107.101
使用するポート番号 : 10011, 10022

PC日報のインストール(インストールマニュアル参照)

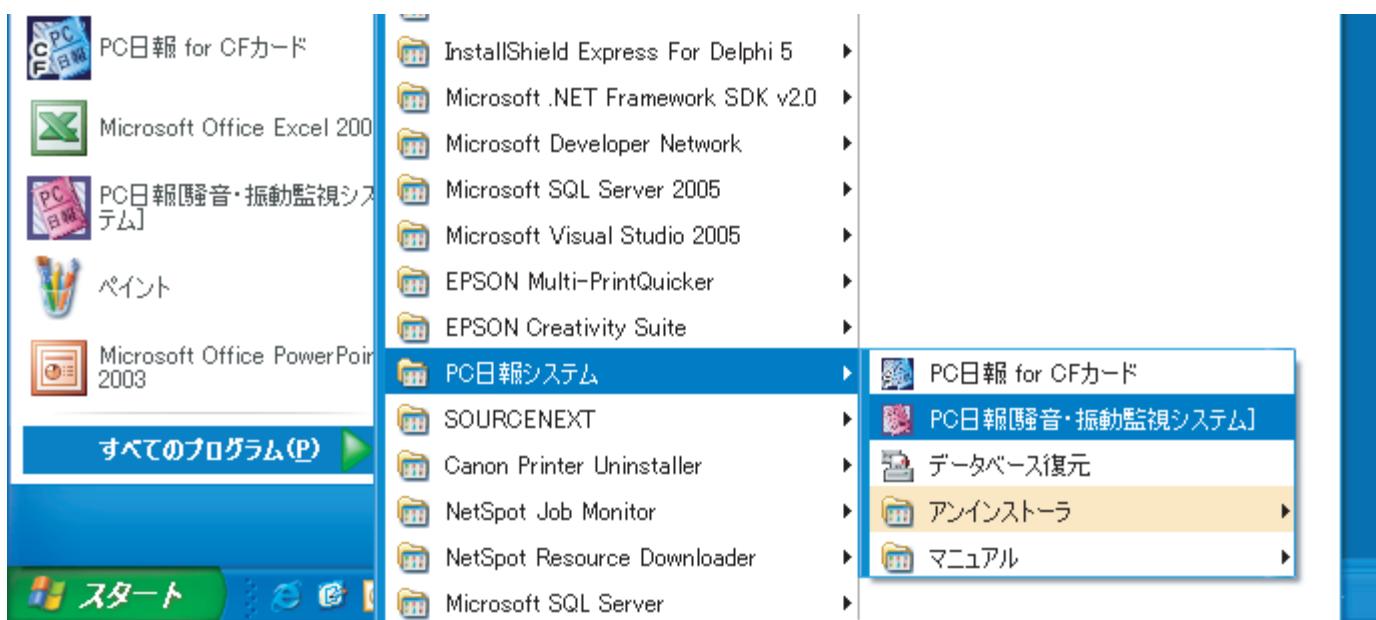
1. CD-ROMドライブに「PC日報ソフト」(CD-ROM)を挿入します。
2. [スタート] - [マイコンピュータ]をクリックし、「PC日報ソフト」をクリックし、CD-ROMを開きます。
3. Install.exe (もしくは Install) をダブルクリックします。
4. 「PC日報システムのインストール」をクリックします。
5. 「MSSQL\$EMB」のインストールが開始されます。
6. パソコンを再起動をします。
7. 再起動後、再度「PC日報システムのインストール」をクリックします。
8. PC日報ソフトとデータベースがインストールされます。

！注意！

PC日報ソフトと共にPC日報 for CFカードもインストールされます。

起動方法

1. EBH1の電源を投入します。
2. 騒音計および振動計の電源を投入します。
3. パソコンのCD-ROMドライブにPC日報ソフト(CD-ROM)を入れてください。
4. PC日報アプリケーションの起動を行います。
[スタート]—[すべてのプログラム]—[PC日報システム]—[PC日報[騒音・振動監視システム]]をクリックします。
起動にはおよそ30秒～1分要する場合があります。



起動時に行う計測器の自動設定について

PC日報は、アプリケーション起動時に騒音計および振動計の環境設定を自動設定します。
各設定値は下記のとおりです。

騒音計設定値

周波数重み特性 : A
時間重み特性 : Fast
レベルレンジ : 20～100dB
メモリー保存形式 : Auto2

振動計設定値

周波数重み特性 : Lv
測定方向 : Z
レベルレンジZ : 30～90dB
メモリー保存形式 : Auto2

！注意！

バックアップとしてCFカードにもデータを保存できますが、カードは2週間に1回を目安に
交換願います。(CFカードからのデータ収集方法は「PC日報取扱い説明書(本体操作編)」参照)

停電等で計測機器本体の電源がダウンした場合は、**電池交換、CFカードの交換**が必要となります。

パソコンの電源を落としたり、スタンバイ状態にすると、データの収集ができなくなります。
ただし、24時間の運用を続けるとパソコンにも負荷がかかりますので、**データの収集を必要としない時にはパソコンの再起動や電源オフを行ってください。**

測定場所情報

測定場所情報の登録を行います。

測定場所情報

ID	現場名	設置場所	計測開始日	計測終了日	EBH1コード

ID:

現場名:

設置場所:

計測開始日: 計測終了日:

EBH1 コード:

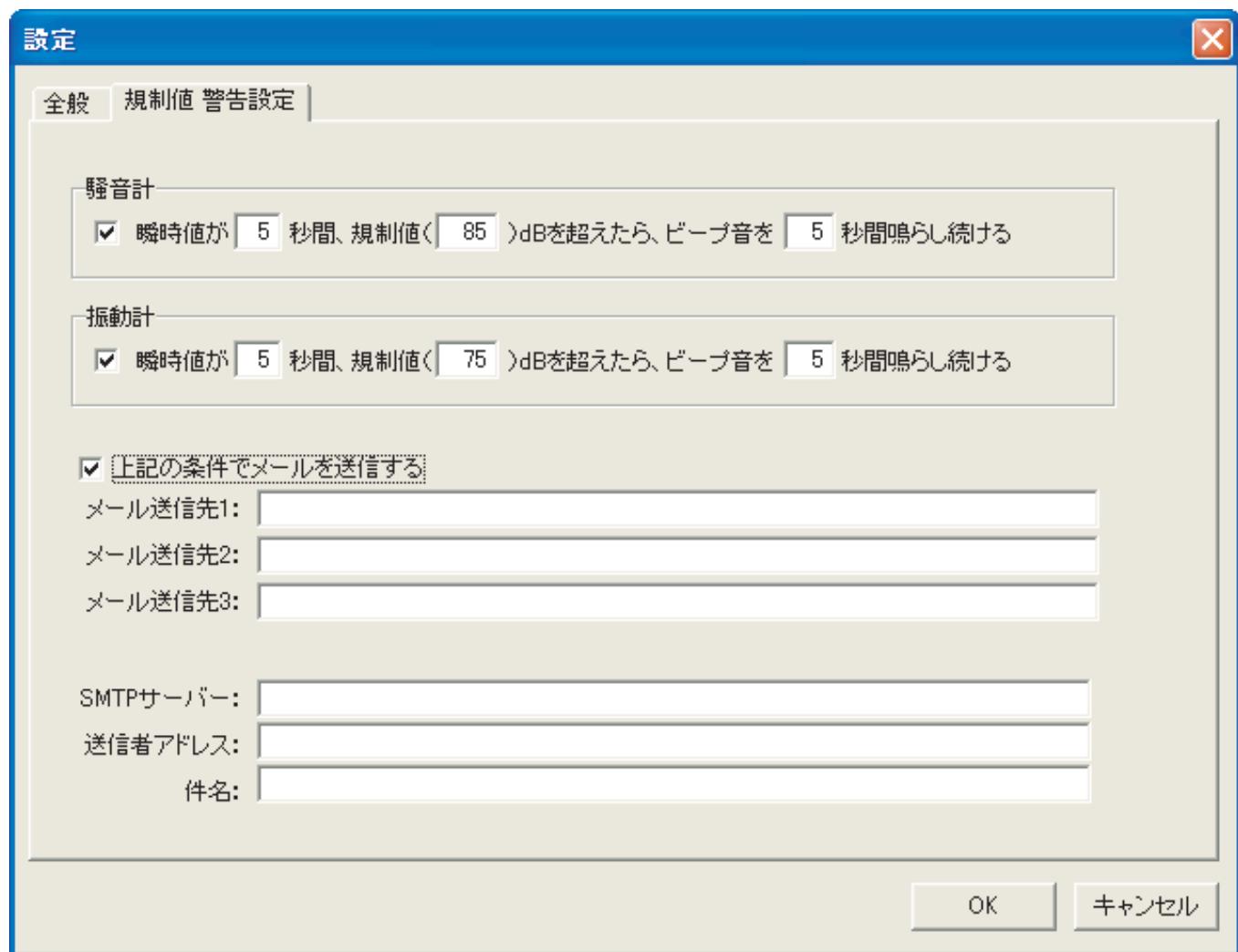
① 新しく測定場所を登録します。

ID : 整数（9桁まで）を入力してください。 [必須]
 現場名 : 現場名を入力してください。日本語入力可 [必須]
 設置場所 : 設置場所名を入力してください。日本語入力可 [必須]
 計測開始日 : yyyy/mm/dd 形式で日付を入力してください。
 計測終了日 : yyyy/mm/dd 形式で日付を入力してください。
 EBH1 コード : PC日報収納ケースに刻印されている製造番号(数字4桁)を入力します。

② 上記を入力し、新規保存ボタンをクリックします。

③ 入力した測定場所情報が表示され、測定場所情報の登録が完了します。

規制値警告設定



【規制値警告設定】（規制値警告設定タブ）

騒音値および振動値の規制値（本アプリケーションにおいての規制値）を超えた場合にビープ音や表示の点滅を行うことができます。また、メール送信も可能です。

騒音、振動それぞれの□にチェック後、各数値を設定してください。

[OK]ボタンをクリック後、設定内容が有効になります。

【規制値警告時のメール送信】（規制値警告設定タブ）

【規制値警告設定】の設定内容で警告される時、メールが送信される機能です。

[設定項目]

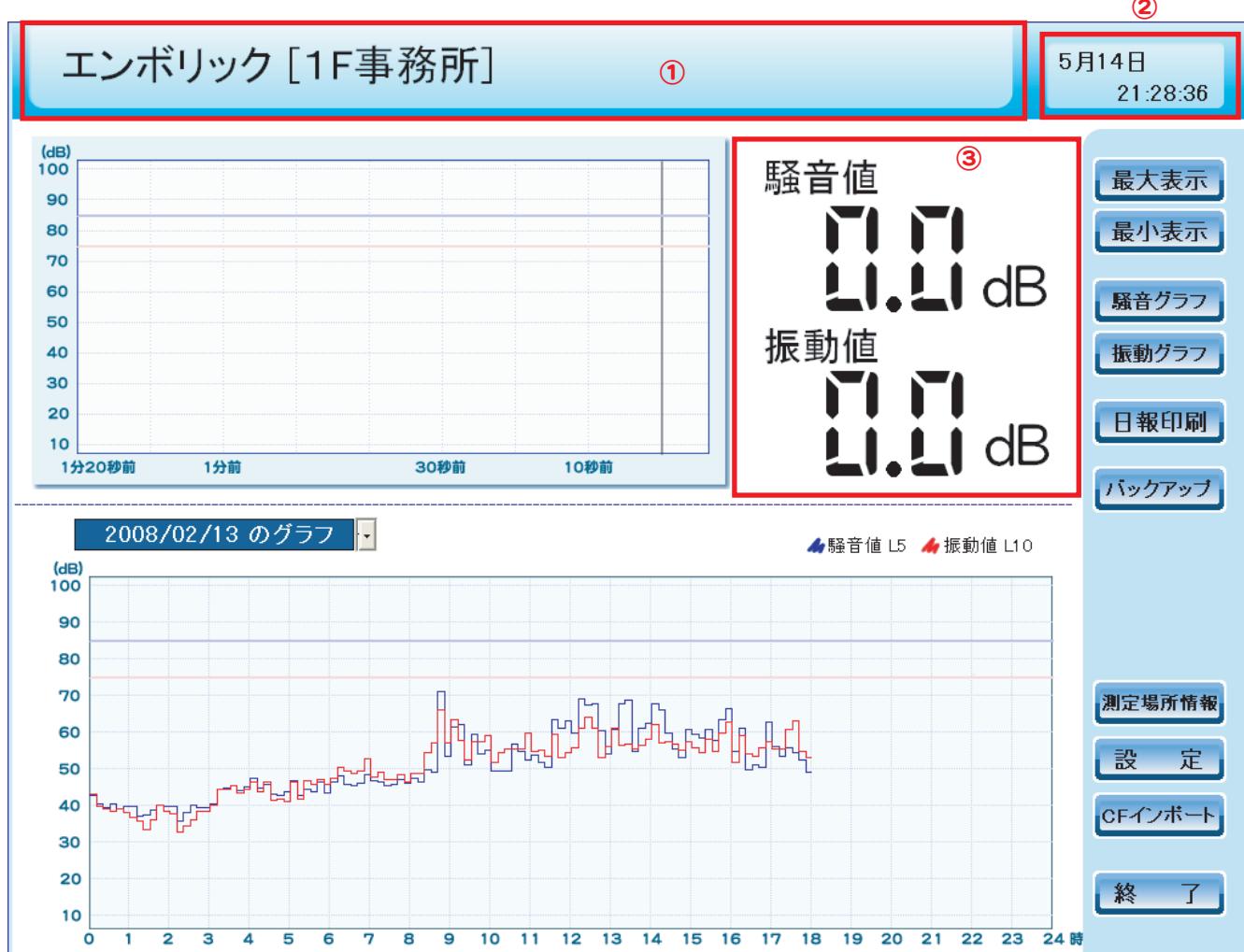
メール送信先 : 最大3つまで同時に送信できます。
 SMTPサーバー : SMTPサーバー名を入力してください
 送信者アドレス : ご担当者のメールアドレスを入力してください。
 件名 : 件名を入力します。

[OK]ボタンをクリック後、設定内容が有効になります。

！注意！

このメール送信機能はSMTPポート（ポート25）を使用しています。お客様のシステムご担当者様、もしくはご契約されているインターネットプロバイダにSMTP（ポート25）に対応しているかご確認ください。

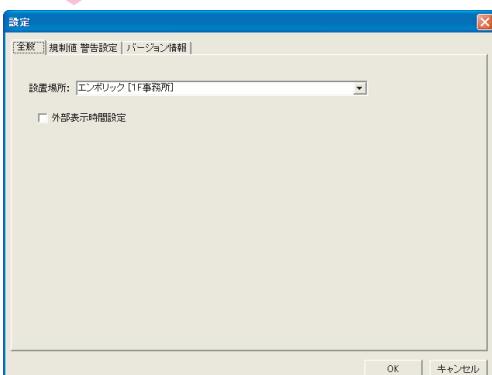
標準画面の説明



①設置場所

表示している測定値の設置場所を表示します。
表示対象の設置場所を変更する場合は、
[設定]ボタン—タブ[全般]—設置場所を変更します。

設 定



②時刻

現在の日付と時刻を表示します。

③計測値表示

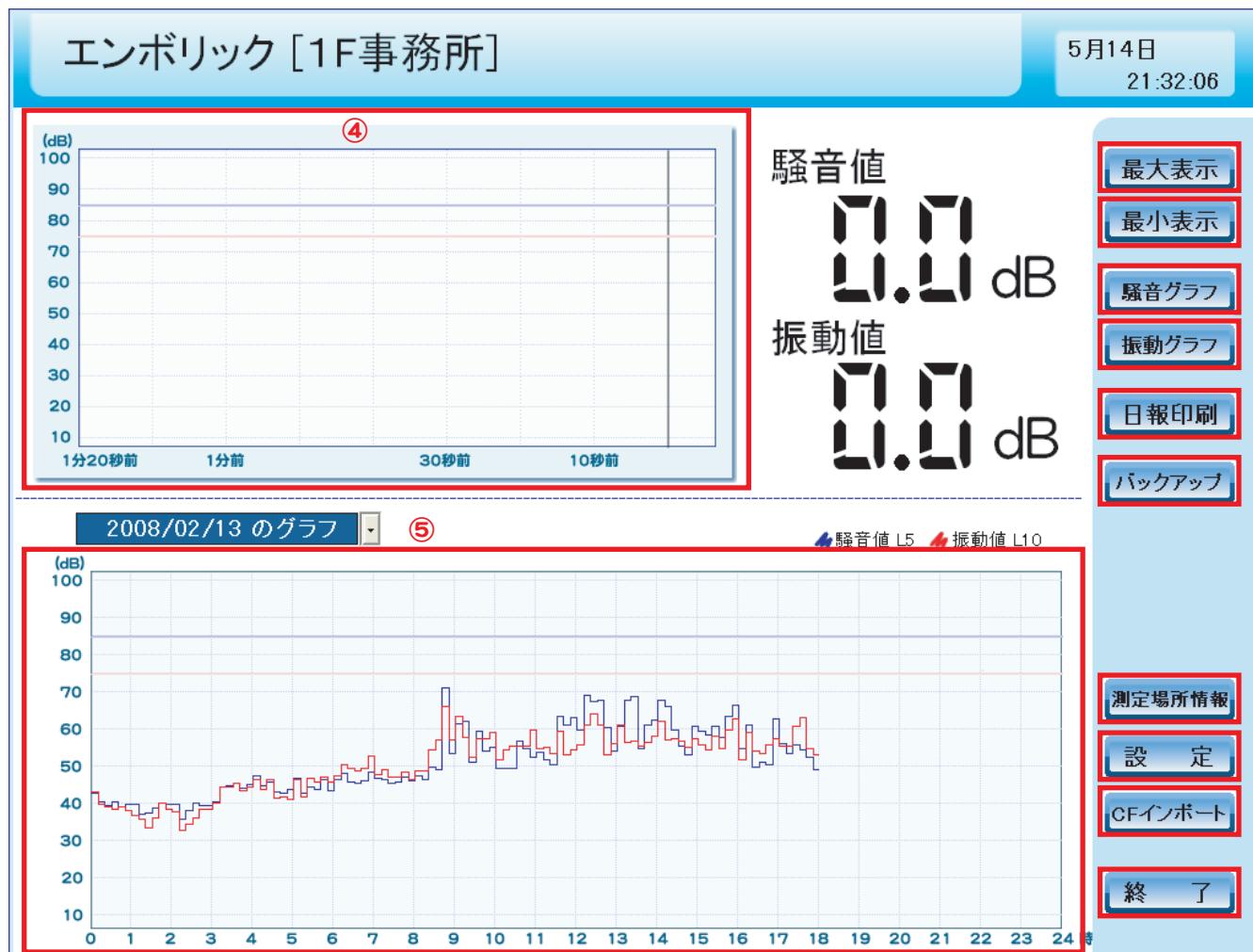
計測値を1秒ごとに表示します。
表示形式は 0.0dB ~ 99.9 dB ですが、計測値
が100dB以上の場合は 00.0dB と表示します。

規制値オーバー時

計測値が規制値を超えたときは、点滅やビープ
音で警告し、お知らせします。

(メニュー[設定]—規制値警告設定画面で設定
する必要があります)





④計測値モニタ

1分20秒前までの計測値をグラフ表示します。

グラフ内容 : 騒音演算値 = 瞬時値 振動演算値 = 瞬時値
 グラフレベル範囲 : 10~100dB
 グラフ時間範囲 : 過去 1分20秒間

⑤日別グラフ

計測値を10分演算した値をグラフ表示します。

過去のグラフをご覧になりたいときは **2007/08/29 のグラフ** を目的の日付に変更してください。

グラフ内容 : 騒音演算値 = L5 振動演算値 = L10
 グラフレベル範囲 : 10~100dB
 グラフ時間範囲 : 0時~24時

最大表示ボタン

計測値表示のみの画面になります。ディスプレイに最大表示します(図1-1)。

※他のアプリケーションの操作はできなくなります。

四角の枠内をクリックすると図1-2が表示されますので、「PC日報メイン画面に戻る」をクリックすると、標準画面に戻ります。

最大表示画面

図1-1



図1-2

PC日報メインに戻る(P)
最小表示(M)
最大表示(L)

最小表示ボタン

計測値表示のみの画面になります。他のアプリケーションを操作しながら監視できる画面サイズです。

四角の枠内をクリックすると図1-4が表示されますので、「PC日報メイン画面に戻る」をクリックすると、標準画面に戻ります。

最小表示画面

図1-3

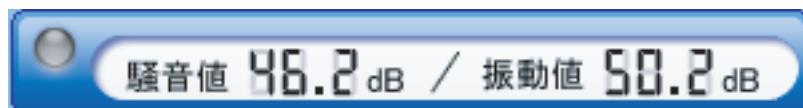
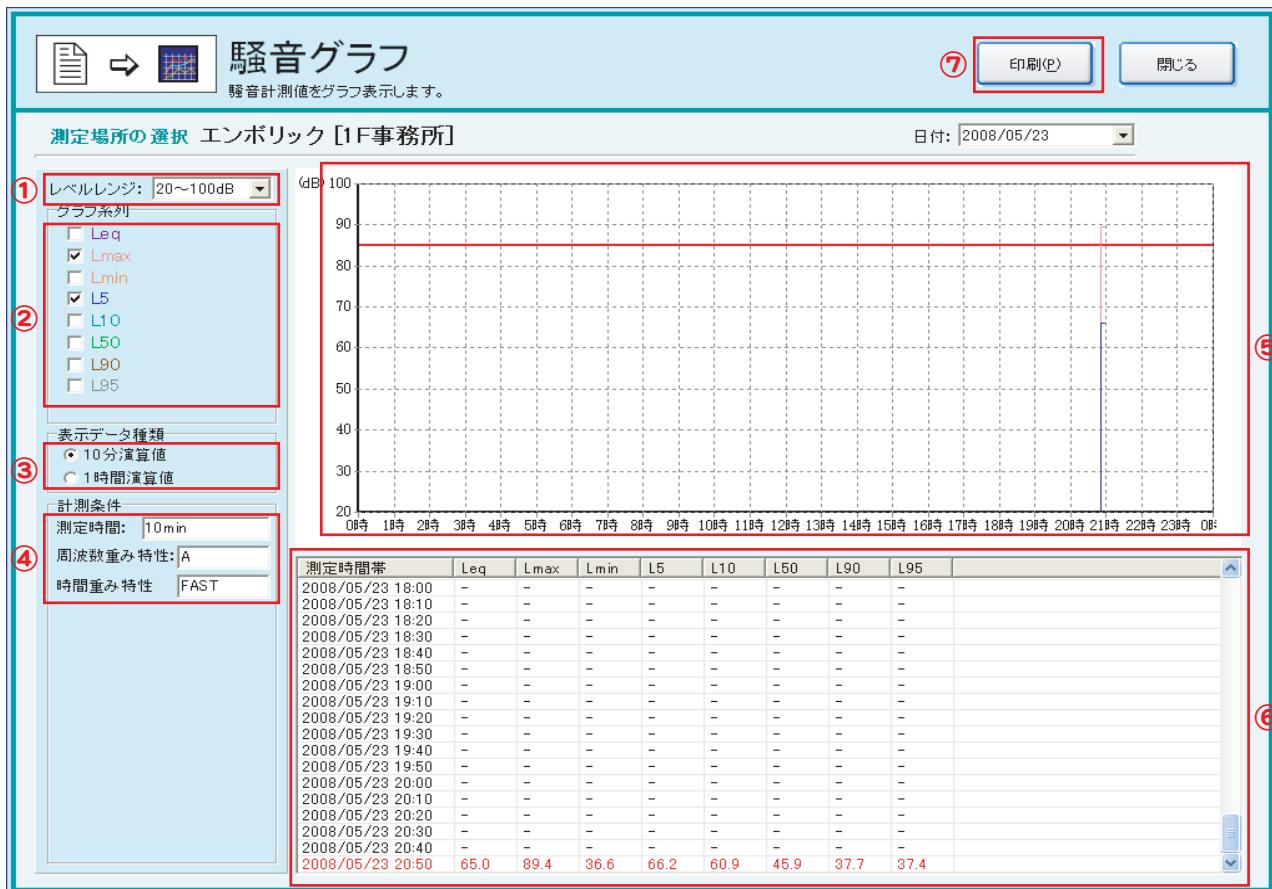


図1-4

PC日報メインに戻る(P)
最小表示(M)
最大表示(L)

騒音グラフ

騒音計測値をグラフ表示します。



① 表示するグラフのレベルレンジを選択します。

② 表示するグラフのグラフ系列を選択します。

③ 表示するグラフのデータ種類を選択します。

④ 計測条件を表示します。

測定時間 : 10min

周波数重み特性 : A

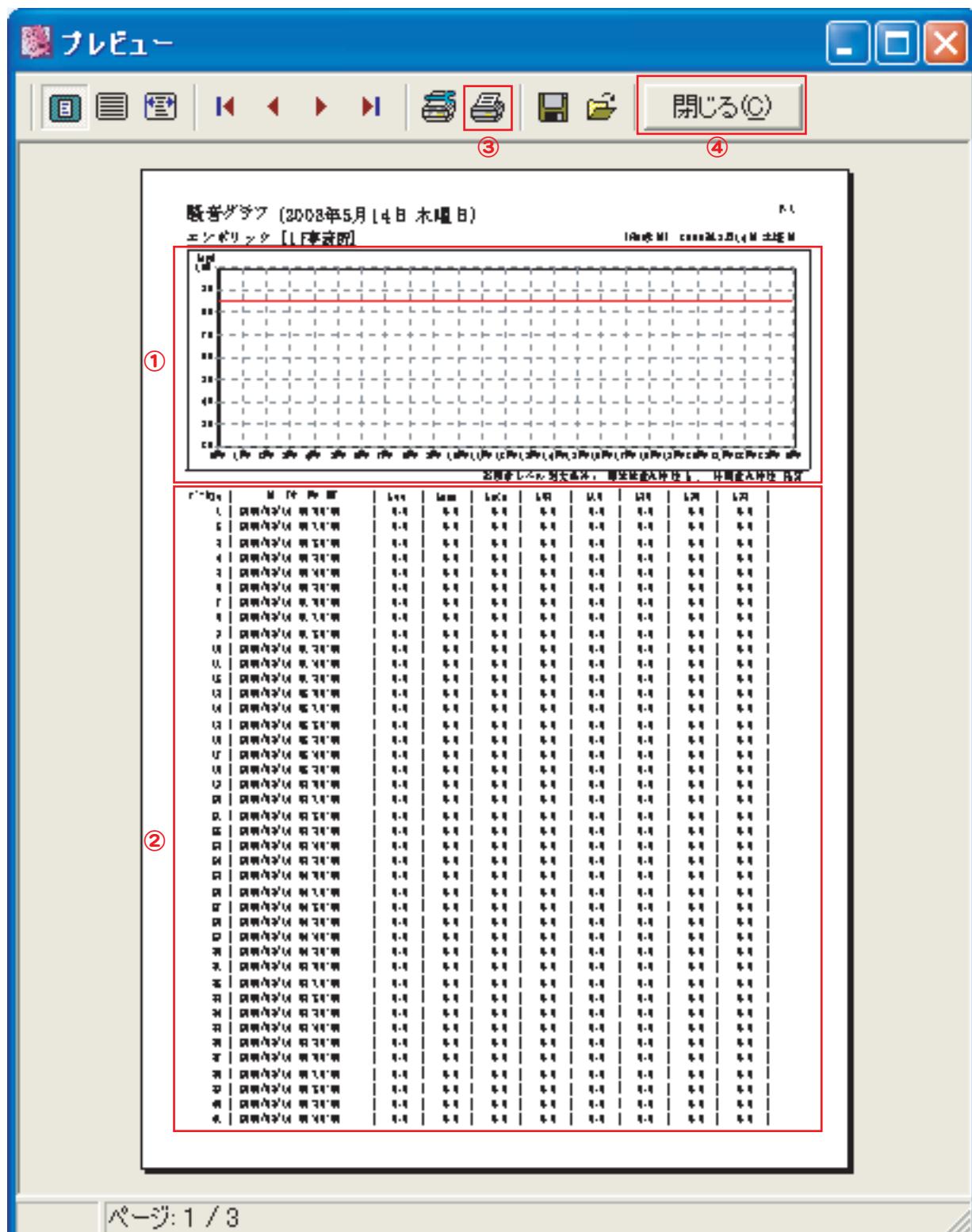
時間重み特性 : FAST

⑤ 計測した騒音値をグラフ表示します。

⑥ 10分ごとの計測値を表示します。

⑦ 騒音グラフの印刷を行います。印刷ボタンをクリックすると、印刷プレビュー画面が表示されます。

騒音計測値印刷プレビュー画面



- ① 印刷するグラフが表示されます。
- ② 印刷するグラフの10分ごとの計測値が表示されます。
- ③ 印刷ボタンをクリックすると印刷が開始されます。
- ④ 閉じるボタンをクリックすると画面を閉じます。

振動値詳細

振動計測値をグラフ表示します。



① 表示するグラフのレベルレンジを選択します。

② 表示するグラフのグラフ系列を選択します。

③ 表示するグラフのデータ種類を選択します。

④ 計測条件を表示します。

レンジ : X:90, Y:90, Z:90

測定時間 : 10min

周波数重み特性 : Lv

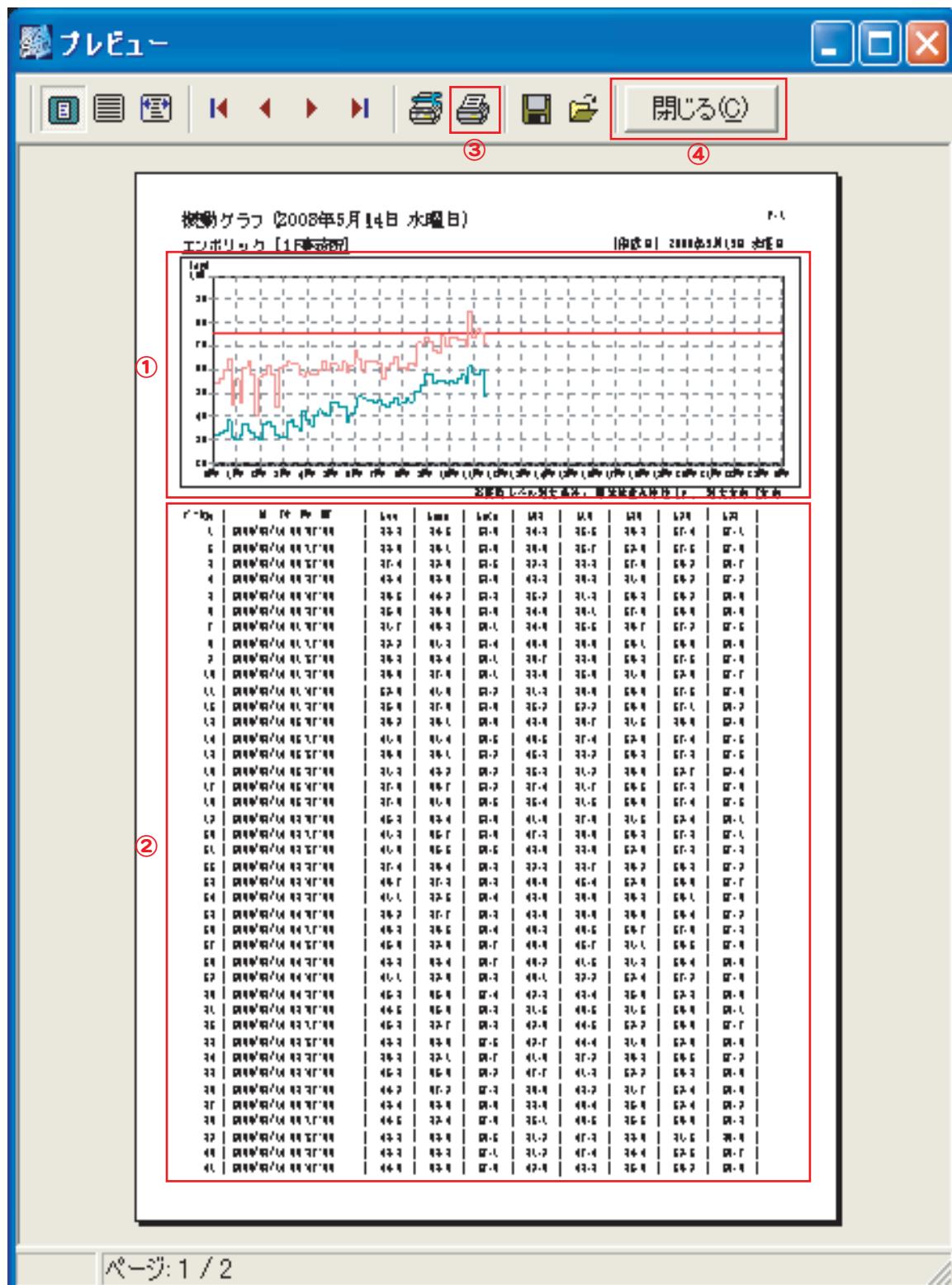
測定方向 : Z方向

⑤ 計測した振動値をグラフ表示します。

⑥ 10分ごとの計測値を表示します。

⑦ 振動グラフの印刷を行います。印刷ボタンをクリックすると、印刷プレビュー画面が表示されます。

振動計測値印刷プレビュー画面



① 印刷するグラフが表示されます。

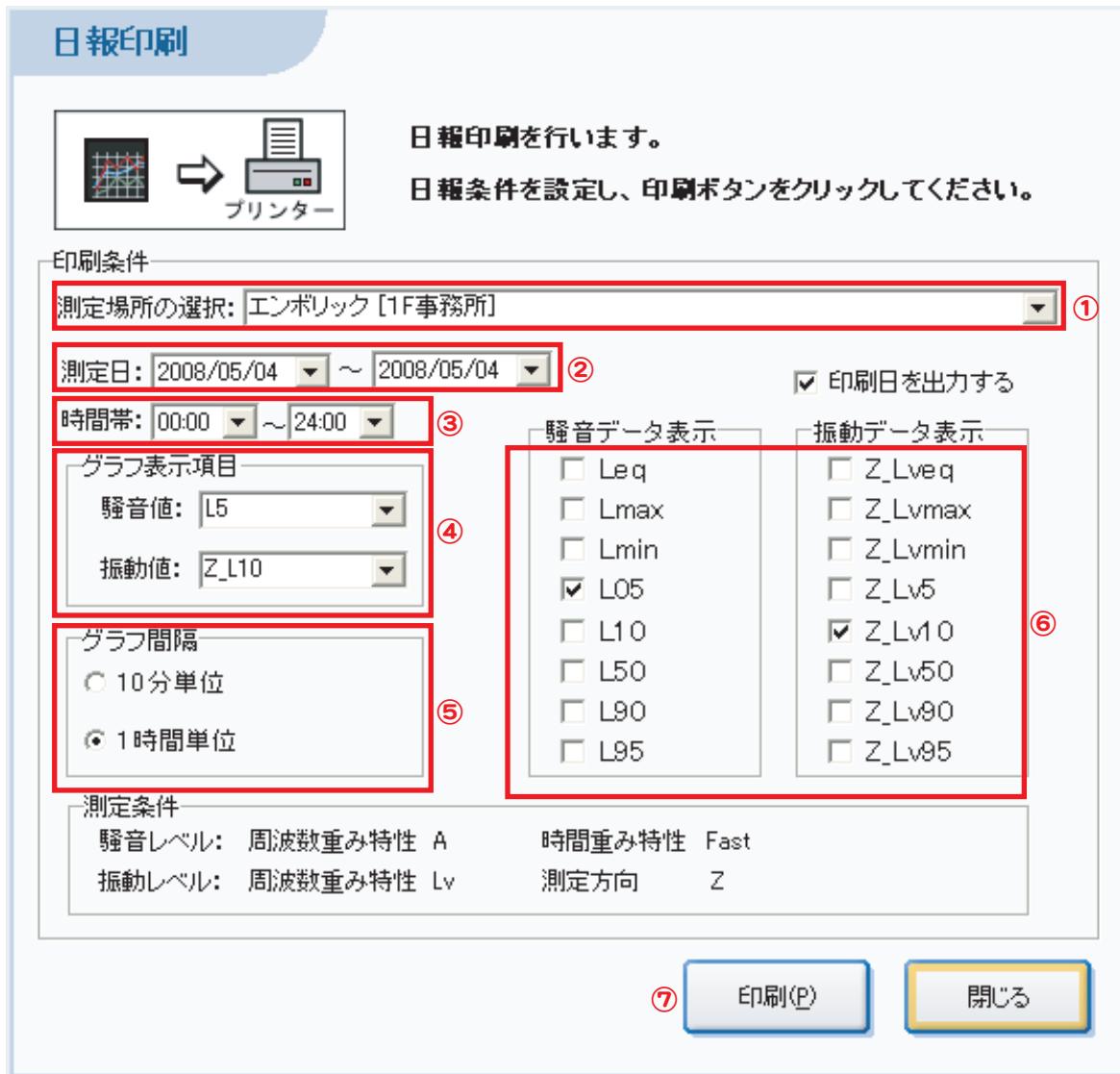
② 印刷するグラフの10分ごとの計測値が表示されます。

③ 印刷ボタンをクリックすると印刷が開始されます。

④ 閉じるボタンをクリックすると画面を閉じます。

日報印刷

日報印刷を行います。



① 印刷時に測定場所を選択します。

② 印刷時に測定日の範囲を選択します。

！注意！

日報を数日分まとめて印刷する場合は、計測データがない日も印刷されます。

③ 印刷時に時間帯の範囲を指定します。

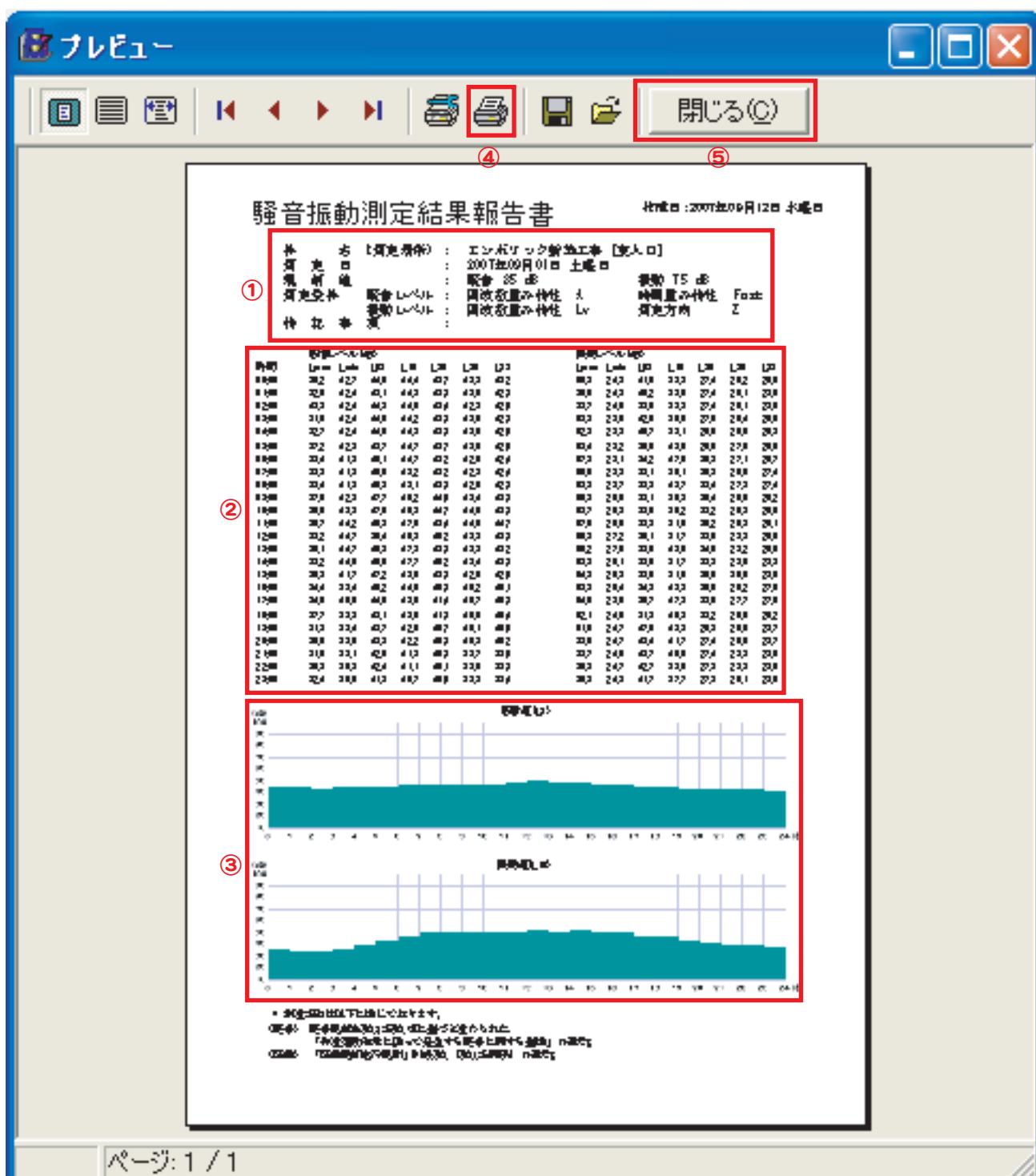
④ 印刷時にグラフ表示する値を選択します。

⑤ 印刷時にグラフのデータ間隔を選択します。

⑥ 印刷時に印刷する演算値データを選択します。

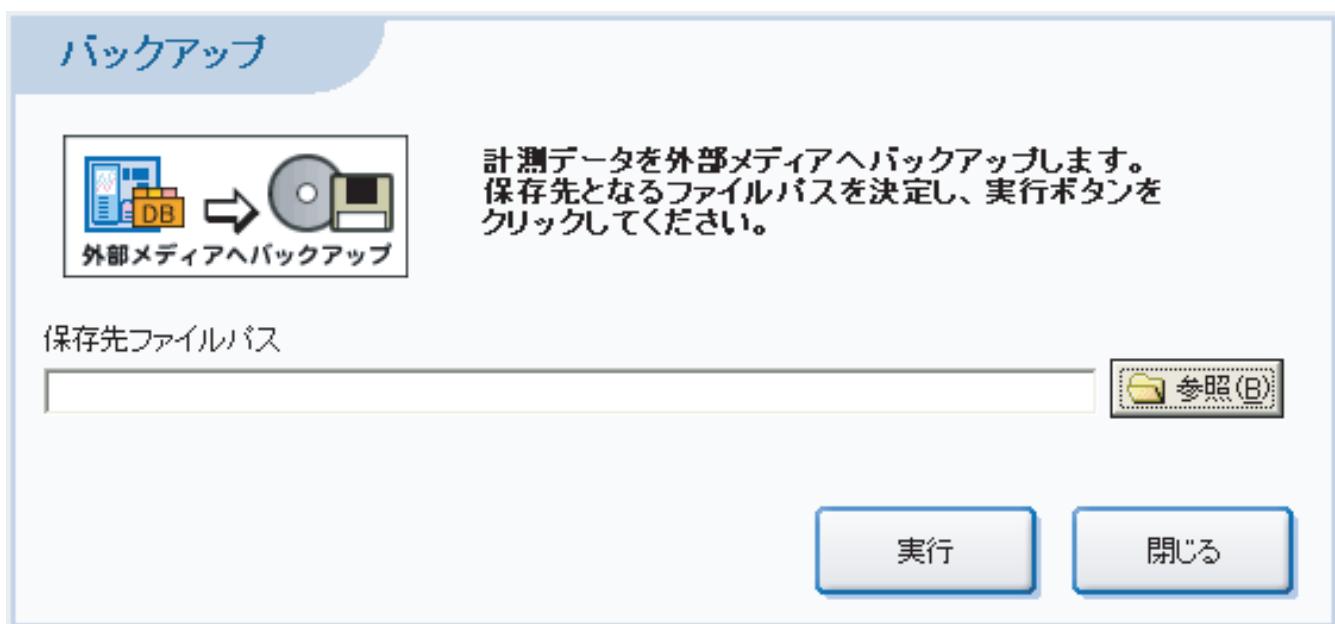
⑦ 測定場所の選択、測定日などを指定し印刷ボタンをクリックするとプレビューが表示されます。

日報印刷プレビュー画面



- ① 計測場所や計測日、特性などが表示されます。
- ② 日報印刷画面でチェックした項目のみ表示されます。値は計測値（1時間平均）です。
- ③ 日報印刷画面で選択した項目が1時間もしく10分間のグラフに表されます。
- ④ 印刷ボタンをクリックすると印刷が開始されます。
！注意！
日報を数日分まとめて印刷する場合は、計測データがない日も印刷されます。
- ⑤ 閉じるボタンをクリックすると画面を閉じます。

計測データのバックアップ



- ① 保存先ファイルパスを指定します。
- ② 実行ボタンをクリックします。
- ③ 「バックアップが完了しました」のメッセージが表示されバックアップは完了です。

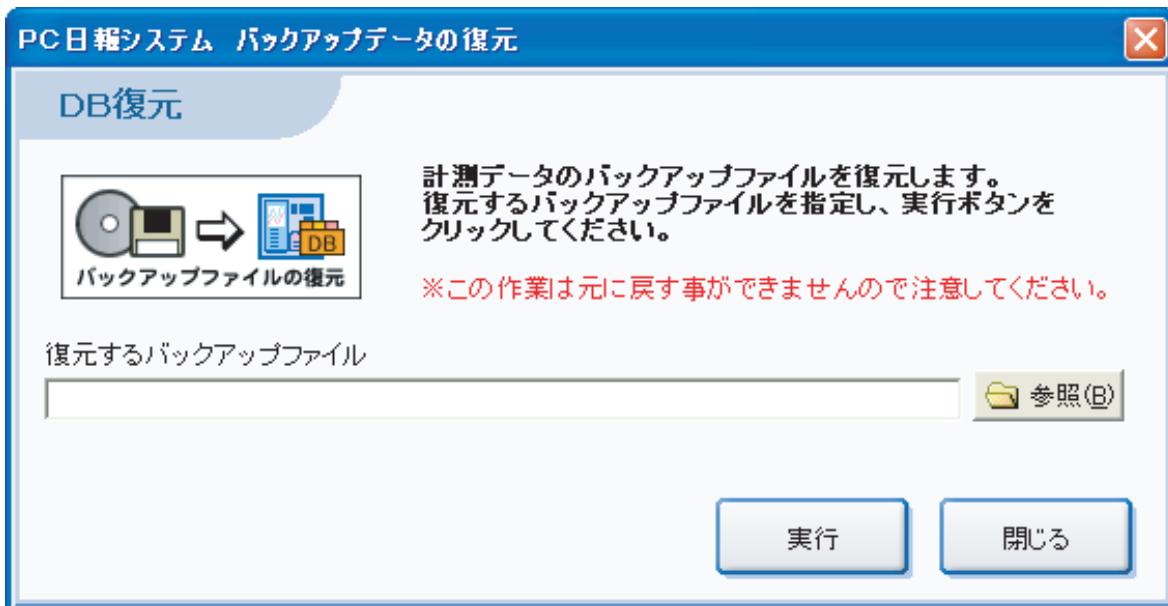
！注意！

バックアップとしてCFカードにもデータを保存できますが、カードは2週間に1回を目安に交換願います。

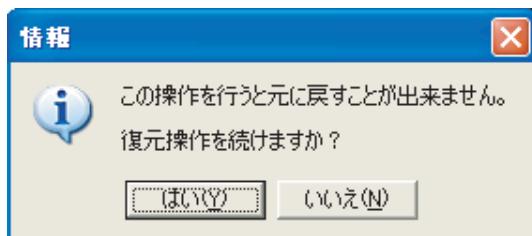
(CFカードへのデータ収集方法は「PC日報取扱い説明書（本体操作編）」参照)

バックアップの復元

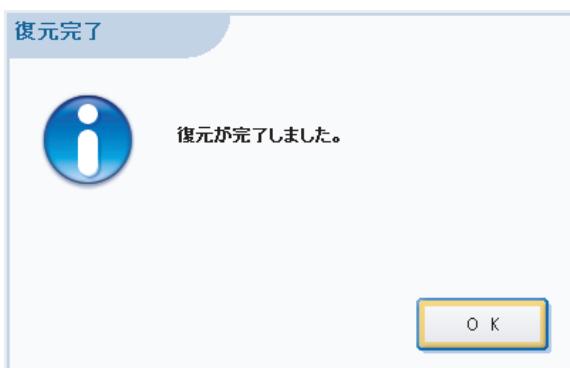
- ① [スタート]—[すべてのプログラム]—[PC日報システム]—[PC日報 データ復元]をクリックします。



- ② パソコンのCD-ROMドライブにPC日報ソフト(CD-ROM)を入れてください。
- ③ 復元するバックアップファイルを指定してください。
- ④ 実行ボタンをクリックします。
- ⑤ 復元することの確認メッセージが表示されます。[OK]ボタンをクリックしてください。
※[OK]ボタンをクリックしたあとは作業を中止することはできません。



- ⑥ 復元完了のメッセージが表示されますので[OK]ボタンをクリックしてください。



※注意
「PC日報 for CFカード」アプリケーションのデータも同時に復元されます。

- ⑦ 閉じるボタンをクリックし、完了です。

測定場所情報

ID	現場名	設置場所	計測開始日	計測終了日	EBH1コード
1	エンボリック	1F事務所	2007/12/16		
2	さいたまスーパーアリーナ	1Fホール	2008/02/14		

[閉じる](#)

ID:

現場名:

設置場所:

計測開始日:

計測終了日:

EBH1コード:

[新規保存](#) [更新](#) [削除](#)

① 測定場所の情報を変更する

- 1-1 変更する設置場所を現場リストより選択します。
 1-2 目的の項目を変更し、更新ボタンをクリックします。

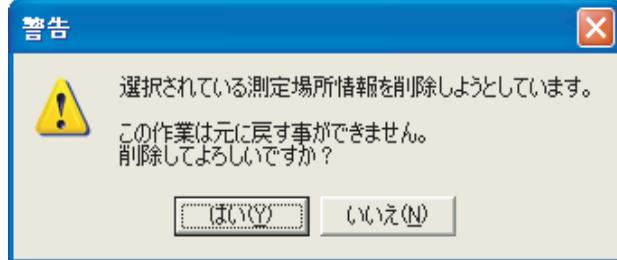
ID : 重複しない整数（9桁まで）を入力してください。 [必須]
 現場名 : 現場名を入力してください。日本語入力可 [必須]
 設置場所 : 設置場所名を入力してください。日本語入力可 [必須]
 計測開始日 : yyyy/mm/dd 形式で日付を入力してください。
 計測終了日 : yyyy/mm/dd 形式で日付を入力してください。
 EBH1コード : PC日報収納ケースに刻印されている製造番号(数字4桁)を入力します。

② 測定場所の情報を削除する

2-1 削除する設置場所を現場リストより選択します。

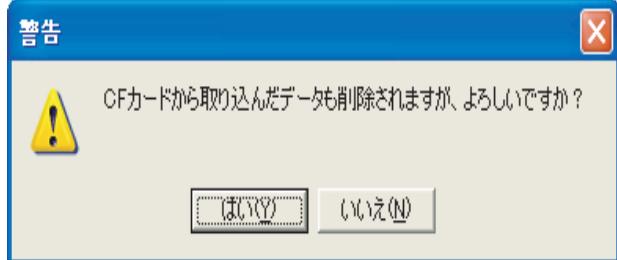
2-2 削除ボタンをクリックすると、図2-1が表示されます。

図2-1 警告



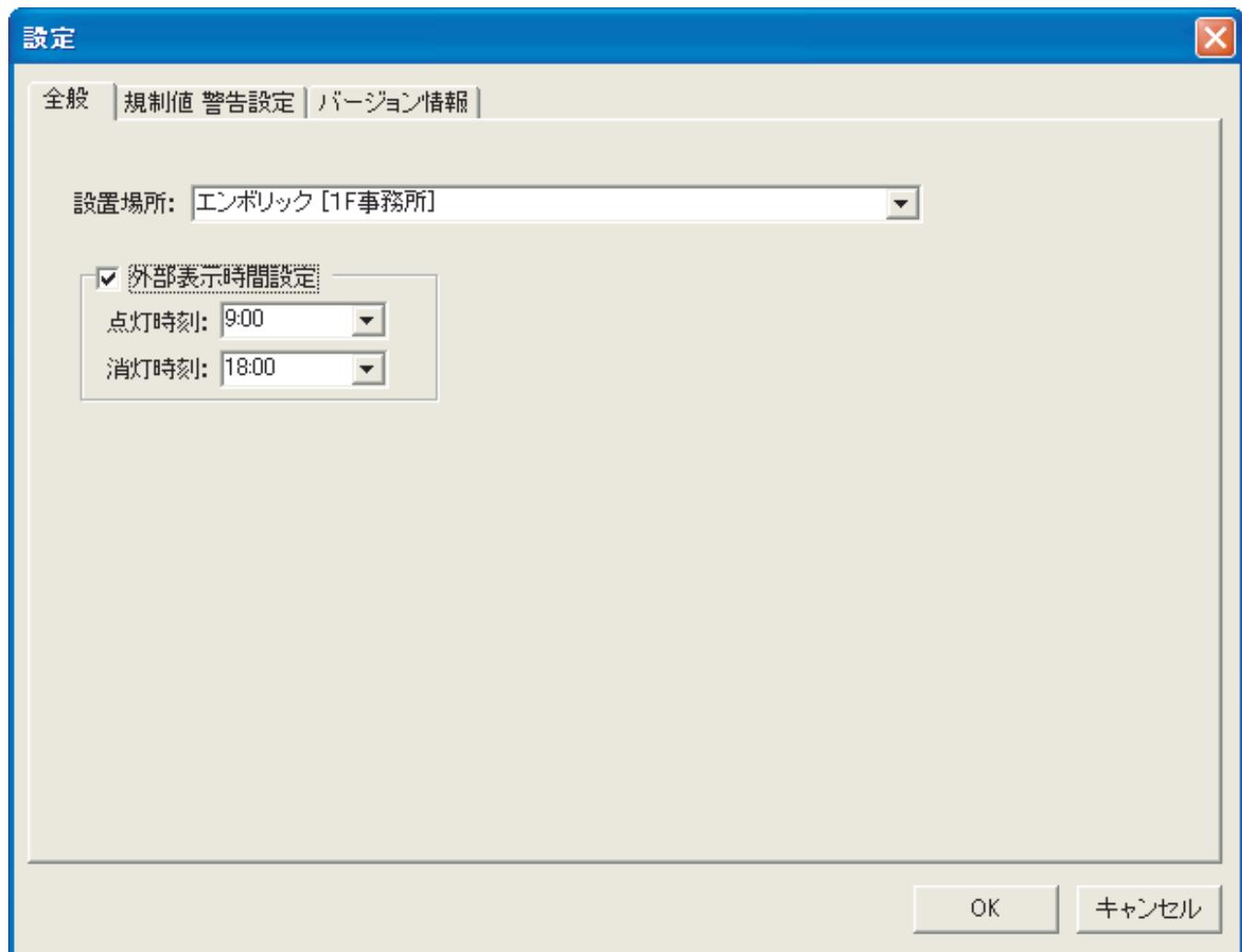
2-3 「はい」をクリックすると、図2-2が表示されます。

図2-2 警告



2-4 「はい」をクリックすると、測定場所情報の削除が完了します。

設定画面



【計測器の設置場所を選択・変更】（全般タブ）

現在計測中の設置場所をコンボボックスより選択します。

新しく設置場所を追加する場合はメイン画面の「現場情報」より追加してください。

【外部表示機の表示時間設定の有効無効】（全般タブ）

外部表示機の、点灯・消灯時間を設定します。

たとえば「作業時間（AM9:00～PM5:00）は外部表示機に計測値を表示し、それ以外の時間は外部表示機の電源は消しておきたい」という場合に利用します。

この機能を有効にしたい場合

↓をチェックし、点灯時刻および消灯時刻を24時間形式で入力してください。

外部表示時間設定 [OK] ボタンをクリック後、設定内容が有効になります。

外部表示時間設定

点灯時刻: 9:00

消灯時刻: 17:00

！注意！

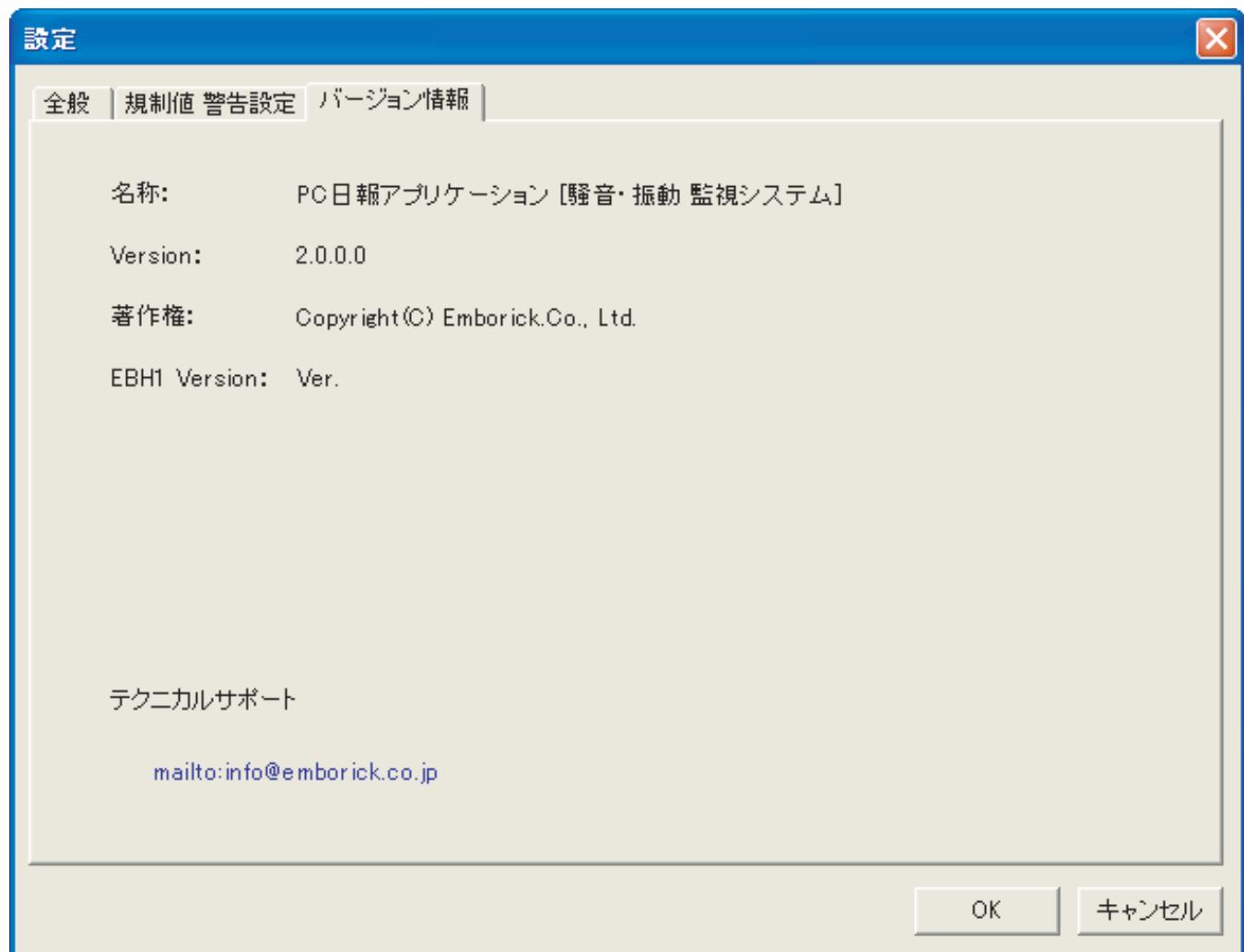
この機能は

本アプリケーションが
起動しているときのみ
有効になります。

この機能を無効(常に点灯)にしたい場合

チェックをはずし、[OK] ボタンをクリック後、外部表示機は点灯します。

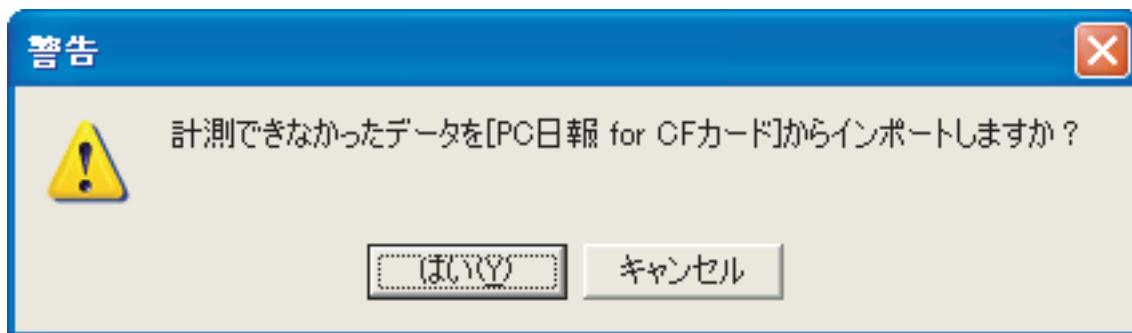
バージョン情報



名称 : PC日報アプリケーション [騒音・振動 監視システム]
Version : 2.0.0.0(現在のバージョン)
著作権 : Copyright (C) Embarick Co., Ltd
EBH1 version : 1.0.0.4(2008/5/1現在)
テクニカルサポート : info@embarick.co.jpをクリックするとメールソフトが起動し、宛先になります。

CFインポート

計測できなかったデータをPC日報 for CFカードからインポートします。



- ① 計測できなかったデータをインポートしますか?とメッセージが表示されます。
- ② 「はい」をクリックします。
- ③ データの取り込みが完了します。



- ④ インポートされたデータの日付を選択すると、計測データが表示されます。

ソフトの終了

PC日報ソフトを終了します。

① 標準画面の **終了** をクリックします。

② ソフトが終了します。
(特にメッセージの表示はありません。)

株式会社エンボリック

〒361-0001 埼玉県行田市北河原705番地
TEL : 048-557-3266／FAX : 048-557-3421

第2版：2008年5月1日